





1. 操作ボタン

ボタンの種類	機能	ハザード	音	備考
ロックボタン 	ロックし、監視モードになります。	1回	2回	センサー監視オフの場合、音は1回
アンロックボタン 	アンロックし、監視モードを解除します。	3回	3回	監視中異常ありで、音は4回または5回
サーチボタン 	カーサーチ機能 (ロケーター機能ともいいます。)ハザードが30秒間点滅します。	点滅	-	途中フォグボタンを除くいずれかのボタンを押しても止まりません。
フォグボタン 	フォグランプのオン/オフができます。	-	-	

2. 内部スイッチの設定 (必ず受信機のすべてのコネクタを抜いた状態で設定して下さい。)

スイッチの種類	機能	備考
JP1	自動再ロック機能: 間違えてアンロックボタンを押しても30秒以内にドアを開けなければ自動的に再ロックする機能	ショート(黒コネクタをつける):機能オフ オープン(黒コネクタを外す):機能オン
JP2	自動アンロック機能: ACCをオフしたときに(10秒以上ACCをオンした場合に有効)アンロックさせる機能	ショート(黒コネクタをつける):機能オフ オープン(黒コネクタを外す):機能オン (純正車速ロック付き車両に便利です)

3. 標準機能(標準と記載)と各種オプション(主なものの抜粋)

標準機能とオプション()	機能説明	操作方法
サイレント機能(標準)	ロック・アンロックするときにアンサーバック音を出しません。	サーチボタン ロックまたはアンロックボタン
フォグランプオン/オフ(標準) 3CHリモコン場合は使用不可	フォグボタンを押すと点灯、もう一度押すと消灯します。	フォグボタン
パニックモード(標準)	強制的にサイレンを鳴らしハザードを点滅させます。(設定で機能オフも可能)	ロックボタンのダブルクリック
トランクオープナー(標準)	リモコンでトランクが開けられます。	サーチボタンの長押し(3秒以上)
車速ロック(標準)	車が走り始めると自動ロックします。	-
車速感応ドア開警告(標準)	車が走り始めるとハザードと音(サイレンを接続している場合)で警告します。	-
ボイスアンサーバック()	ロック・アンロックしたときに音声でアンサーバックします。	詳細はボイスモジュールの説明書
パワーウィンドウ連動() パニックモードは無効になります。	リモコンでパワーウィンドウやサンルーフを開閉できます。	ロックボタンの長押しでPWが閉 アンロックボタンの長押しで開 車両の仕様による

4. キーレス連動フォグアンサーバックの詳細説明

アンロックすると内部のフォグリレーがオンします。(ライトオン) イグニッションキーをACCにすると出力がオフします。(ライトオフ) また、1分以内または2分以内(設定による)にイグニッションキーをACCにしない場合も出力がオフします。イグニッションキーをオフした場合(ただし、10秒以上ACCをオンした場合に有効です。)に出力がオンします。設定によりオンさせないことも可能です。いずれの場合もロックすると出力がオフします。

5. 車速ロック機能の詳細説明

車が走行し始めると自動的にロックします。イグニッションキーをオフする(ただし、10秒以上ACCをオンした場合に有効です。)とアンロックします。(上記内部スイッチJP2がオープン設定の時)
(注)車速ロックしたあと、エンジンを切らずに手でアンロックし、そのまま走行しても再車速ロックしません。ドアを開けた場合は、再ロックします。(ドアトリガー線を配線している場合)

6. 車速感応ドア開警告機能の詳細説明

ドアが開いた状態で車が走行し始めるとハザードと音(サイレンを接続している場合)で警告します。

7. 各種設定方法 (ACCのオン・オフで各種設定が可能です。ACCオフ状態から設定してください。)

設定が完了すると音とハザードの回数で設定内容と完了を通知します。(表内1回か2回で表現)

設定機能	機能説明	ACC操作方法
フォグランプ自動消灯時間設定	アンロックしてから、またはキーオフしてから自動的に消灯する時間を1分(1回)か2分(2回)に設定します。(出荷時1分)	オン オフ(最後はオフ)を4回6秒以内に行う。
ACCオフ時フォグランプをオンまたはオンしない設定	ACCオフ時フォグランプをオンする(2回)かオンしない(1回)かを設定します。(出荷時オン)	オン オフ(最後はオフ)を6回9秒以内に行う。
ドア開時フォグランプをオフまたはオフしない設定	アンロックしてドア開時フォグランプをオフする(2回)かオフしない(1回)かを設定します。(出荷時オフする)	オン オフ(最後はオフ)を8回12秒以内に行う。
パニックモードの有効無効設定	パニックモードの有効(2回)無効(1回)を設定します。(出荷时无効)	オン オフ(最後はオフ)を10回15秒以内に行う。

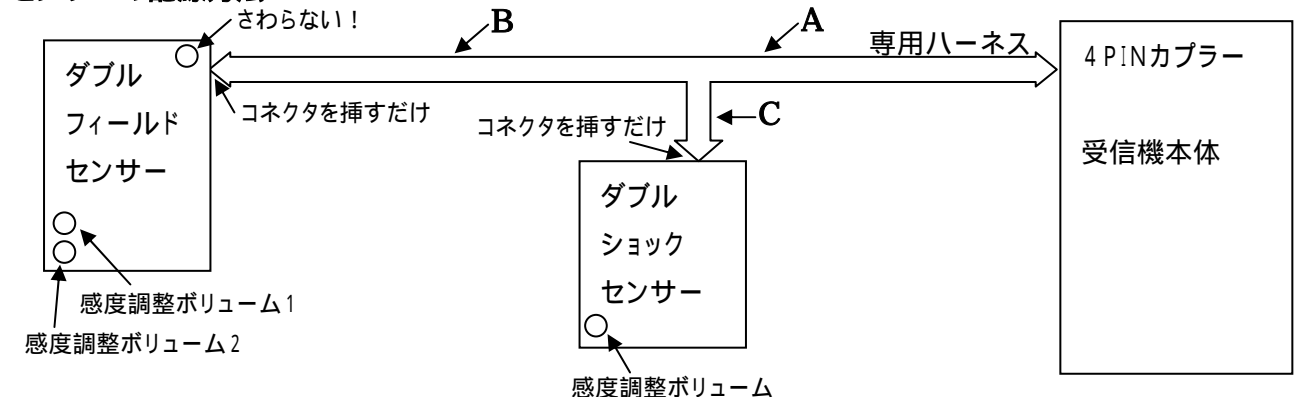
上記設定は、ACCオン状態で10PIN大コネクターを挿すと出荷時の状態に戻ります。

8. 10ピン小および4ピンコネクターの配線表(10PIN大コネクターのキーレス部分は別紙「キーレス基本結線図」参照)

ケーブル線色	説明と主な接続先
茶	トランクオープナーNO出力
赤	トランクオープナーCOM出力
橙	トランクオープナーNC出力
黄	フォグランプへ(内部フォグリレーのNO出力) 接続
緑	フォグランプへ(内部フォグリレーのCOM出力)
青	フォグランプへ(内部フォグリレーのNC出力)
紫	スキャナー出力(-) 当社スキャナーの黒線へ接続
灰	ボイスモジュールや外部スキャナー出力(-) ボイスモジュールの橙線へ接続
白	ドアトリガー線(-) 車両のドアを開けたときにアースに落ちる線へ接続
黒	ACCへ接続 (必ず接続して下さい。)
注意事項	印の線は接続しなくても問題ありませんが、必ずテープ等で絶縁してください。 24V車はボイスモジュールや12Vスキャナーは接続できません。

CN3 4ピンセンサーコネクター線色	説明と主な接続先	
赤	黒	センサー用電源 赤は+12V 黒はアース
青	緑	青は警報信号(重度異常検出)入力 緑は警告信号(軽度異常検出)入力

9. センサーの配線方法



10. ダブルフィールドセンサー・ダブルショックセンサーの設置方法

(1) フィールドセンサー本体は、車内の中心付近に取り付けてください。樹脂等の裏側でも問題ありません。

注意: 車両の両サイドのガラスにプライベートガラスや断熱ガラスなどが使用されていたり、金属含有率の高いウインドフィルムを貼っている場合は、車外の人を感知できない場合があります。ただし、ドアを開けた瞬間に感知し、サイレンが鳴ります。

(2) ショックセンサー本体は、強化したい場所(例:運転席ドア等)の近くに取り付けてください。他の場所でもかまいませんが、両面テープでしっかりと固定してください。防音材の上の方が良い場合があります。

(3) オプションのセンサーオフスイッチを接続するとセンサー機能を任意に制御(オン・オフ)できます。

	赤線を切断してスイッチを接続	青線を切断してスイッチを接続	緑線を切断してスイッチを接続
図のAの場所	両方のセンサーの機能を制御	両方のセンサーの警報を制御	両方のセンサーの警告を制御
図のBの場所	フィールドセンサーの機能を制御	フィールドセンサーの警報を制御	フィールドセンサーの警告を制御
図のCの場所	ショックセンサーの機能を制御	ショックセンサーの警報を制御	ショックセンサーの警告を制御

11. 接続時の注意事項

カプラーは、最初に小カプラーを挿し、次に大カプラーを挿してください。内部のコンピューターが学習しますので、2回リレーの音(サイレンとハザード)が鳴るまでお待ち下さい。その間、絶対にリモコンや内部スイッチは操作しないで下さい。

内蔵のフォグリレーでは、車両のフォグランプを直接駆動できませんので、別売のパワーリレーをご使用下さい。

12. 警告と警報の仕様について

(1) 軽度の異常を検知するとキュ・キュと2回警告音が鳴ります。それから約15秒以内に再度検知した場合、4回警告音が鳴ります。同様に6回、8回と警告音が鳴りますが、次に感知した場合は、約15秒間サイレンが鳴り、同時にハザードとスキャナも高速で点滅します。警告してから15秒間何も検知しなかった場合、次の警告は2回から始まりません。

(2) 重度の異常を検知するサイレンが30秒鳴り、同時にハザードとスキャナも高速で点滅します。サイレン停止後は、ハザードとスキャナは引き続き60秒間点滅します。

(3) 警報を途中で解除する場合は、ロック・アンロック・サーチいずれかのボタンを押します。

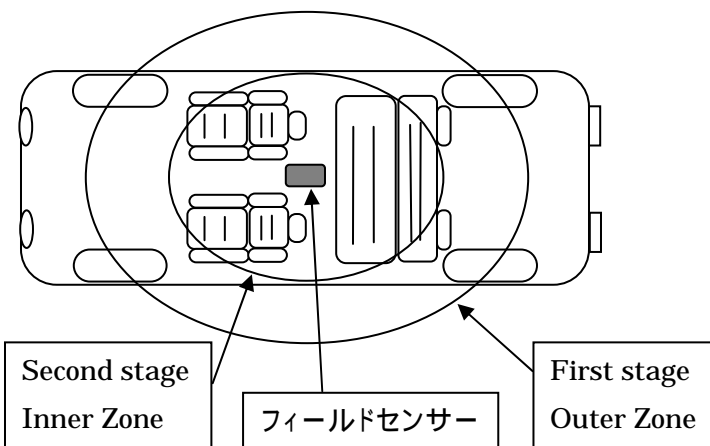
13. セキュリティ監視方法

ダブルフィールドセンサー

ダブルゾーンで監視しています。外側のゾーンで人を感知するとフィールドセンサーの緑LEDが点灯し警告信号が出ます。内側のゾーンで人を感知するとフィールドセンサーの赤LEDが点灯し警報信号が出ます。(前記参照)

フィールドセンサーの調整方法は、まず、感度調整ボリューム1で行います。これは、外側のゾーンの調整を行います。

右に回すと感度が良くなります。次に感度調整ボリューム2で Second stage(Inner Zone)の感度を調整します。右に回すと感度が良くなります。(いずれも調整ボリュームの真ん中よりやや左が最適な目安です。)



ダブルショックセンサー

衝撃の度合いを2段階で感知します。軽度の衝撃を感知すると警告信号が出ます。大きな衝撃を感知すると警報信号が出ます。

ドアトリガー・ボンネット開センサー

ドアやボンネットが開くと感知し、サイレンが鳴ります。一度感知すると監視モードが解除されるまでドアトリガーの監視は行いません。(ドアを開けられたまま逃走された場合、サイレンが鳴り続けるのを防止するため。ただし、センサー監

視は続けます。)ロック中は、ドアトリガー線は常時監視しています。(ドアトリガー異常による警報以降は除く。)

トランクオープン時のセンサー監視

監視中にリモコンでトランクオープンした場合、センサーの監視を停止し、ドアトリガーのみ監視します。(トランクオープン時のショックセンサーの感知を防止します。)ロックボタンを押すと再びセンサー監視を行います。

LEDスキャナ

監視中、LEDスキャナが点滅します。センサー監視を行っているときは、明るく点滅します。ドアトリガーのみ監視しているときは、暗く点滅します。

走行監視

監視中、車速パルスが入るとサイレンが鳴り、ハザードが点滅します。(車速線を接続している場合に有効)

14. セキュリティ監視中にバッテリーを外された場合について

(1) ロックしてセキュリティ監視中にバッテリーをはずされ、その後バッテリーを接続した場合、警報が30秒間行われます。これにより、セキュリティ解除の目的でバッテリーを外しても、監視が中断されることがありません。また、24V車の場合、別売のバックアップサイレンをつなげば、バッテリーをはずしてもサイレンは鳴り続け、より厳重に車両を守ることが可能です。

15. CN2 10ピン小カプラーおよび車速線の配線図

